

Cisco Meraki (ネットワーク&Wi-Fi) × サイネージ 導入事例 アイテムえひめ (愛媛国際貿易センター) 様



Cisco Merakiクラウド管理型ネットワーク × Wi-Fi × 催事案内用 デジタルサイネージで、賑わいの拠点としての利便性と管理性を大幅に向上

愛媛県松山市の総合施設、アイテムえひめ (愛媛国際貿易センター)。同センターは今回、1996年の開設以来初となるネットワーク基盤の全面刷新を行い、Cisco Merakiのクラウド管理型ネットワークを導入。10G光回線化と共に、Wi-Fi環境の整備および、催事案内用デジタルサイネージを配備。多様な催しが開催される賑わいの拠点としての利便性と共に、管理性も大幅に向上しました。

Contents Index

背景・課題	コロナ禍を経て、多様化する施設利用形態への対応を目指し、ネットワーク基盤の刷新を決断
検討～導入	高い管理性と拡張性を評価し、Cisco Merakiのクラウド管理型ネットワークを採用
活用効果	10G光回線化で通信性能と共に、管理性が改善 Wi-Fiとサイネージの配備により、利便性と業務効率も向上
今後の展開	今回刷新した基盤への監視カメラや電話機能の統合など、さらなる機能強化を目指す

アイテムえひめを運営する愛媛エフ・イー・ゼット株式会社 アイテム事業部 企画・営業グループ グループリーダーの松井忠志氏に、お話を伺いました。

背景 課題

コロナ禍を経て、多様化する施設利用形態への対応を目指し、ネットワーク基盤の刷新を決断

センターの特徴をご紹介します。

「アイテムえひめは愛媛県の産業国際化を担う中核施設として、1996年3月にオープンしました。同年2月には物流の拠点施設としてアイロフト (愛媛国際物流ターミナル) もオープンし、国際物流と商流を担う拠点が整いました。同時に、愛媛県と海外を直接結ぶ国際コンテナ航路や航空路線も開設され、地方レベルでの国際化が大きく進みました。当センターは大小合わせて6,000平方メートルの展示場と会議室を併せ持つ、中四国最大規模の展示場です。国際的な展示会はもちろん、一般消費者対象の販売会やイベントなど多様な催しが開催され、愛媛県の賑わいの拠点として機能しています。」

今回のネットワーク基盤刷新の背景と、従前の課題をお聞かせください。

「今後、Web会議などのネットワーク通信を活用した非接触型イベントが増えると予想される中、開設から25年以上が経過した設備では、対応が難しくなっていました。具体的には、従前は県のフリー Wi-Fiが施設ロビーで使えるのみで、主催者が各会場で安定的にインターネットを利用したい場合、その都度有料で光回線を引き込む必要がありました。また、来場者向けの告知や案内の手段として紙の印刷物を使用しており、プリントや張替えなどの手間がかかっていました。今回、コロナ禍への対応も踏まえ、公共性・公益性の高い事業を担う第三セクターとして県の補助事業予算の目途が立ち、開設以来初となる、全面的な基盤の刷新を実施することとなりました。」



愛媛エフ・イー・ゼット株式会社
アイテム事業部 企画・営業グループ
グループリーダー イベント検定士
松井忠志氏

User Profile



アイテムえひめ
(愛媛国際貿易センター)

管理運営会社:
愛媛エフ・イー・ゼット株式会社
所在地: 愛媛県松山市大可賀2丁目1番28号
開設: 1995年

概要: 空港・港との絶好のアクセスと、中四国最大4,500㎡の展示場が魅力です。瀬戸内海の波をモチーフにした曲線が美しい大展示場、機能性に富んだ小展示場、三日月型のガラス越しに2つの展示場に囲まれた陽光と風を感じる屋外展示場、フレキシブルに利用できる会議室など、表情豊かな空間があらゆる分野のビジネスやネットワークづくりにお応えします。

URL: <https://itemehime.com/>

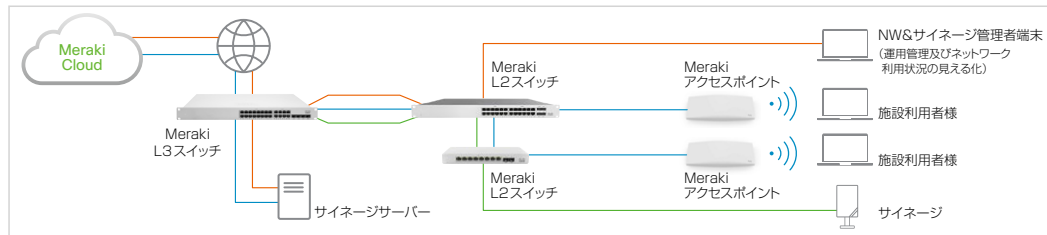
検討
導入高い管理性と拡張性を評価し、
Cisco Merakiのクラウド管理型ネットワークを採用

■ 今回の基盤刷新の要件は、どのようなものでしたか？

「県の補助事業として、コロナ収束後を見据えてネットワーク環境を充実させ、対面、非対面に問わず、多様な施設利用に耐え得る仕組みが求められました。具体的には、10G光回線によるネットワークの強化、館内Wi-Fi環境の整備、そして催事案内用サイネージの設置および、人流や人の密集などを監視できる仕組みも、要件として挙げられました。」

■ ネットワーク基盤にシスコ社のクラウド管理型ネットワーク、Merakiを選んだ理由は？

「第一に、管理性の高さがポイントでした。当センターの基盤は少人数で運用しており、専門的な技術に明るいわけではありません。Merakiはクラウドで統合的に管理できて、通信や機器、人流の把握や、ライセンスの更新などもオンラインで簡単に行えることはとても魅力的でした。また、すべての機器を館内に設置するオンプレミス型に比べてクラウド管理型のMerakiは災害発生時のリスクも緩和でき、BCP対策としても有効です。そのほか、クラウドならではの将来的な拡張性の高さや、世界的にシェアの高いシスコ製の安心感なども、決め手となりました。」



正面入り口のサイネージ

Cisco Meraki
無線LAN アクセスポイント

館内のサイネージ (液晶ディスプレイ)

活用
効果10G光回線化で通信性能と共に、管理性が改善
Wi-Fiとサイネージの配備により、利便性と業務効率も向上

■ ネットワークに関して、導入後の効果はいかでしょうか？

10Gの光回線としたことで、以前より格段に快適なネットワーク環境が実現しました。期待した管理性についても、Merakiのクラウドダッシュボードでリアルタイムに状態が監視でき、見える化という点で大きな安心感があります。利用開始以来、トラブルもなく運用できています。万一、不具合が発生した際もリモートで把握、オンラインで修復いただけますし、機器の故障の際も交換対応してもらえるようになっていますので、運用上の不安も払しょくできました。

■ Wi-Fiについてはいかがでしょうか？

今回、館内にMerakiのAP (アクセスポイント) を計21台設置しました。イベント主催者にアクセス情報をお知らせして利用いただいておりますが、こちらもこれまでほぼトラブルもなく、安定して稼働しています。ユニークな使い方としてはWi-Fi対応のトランシーバーを20台ほど導入し、催事の誘導などに活用しています。MerakiのWi-Fiは電波強度も申し分なく、エントランスや駐車場など、予想以上に広範囲で通信できています。これまでと違って案内係の職員がどこにいるかわからないといったトラブルもなくなり、スムーズなイベント運営に役立っています。

■ サイネージはどのように活用されていますか？

サイネージは催事カレンダーやスケジュールの告知用として、入口とロビーに大型のもの、各階の天井スペースに液晶ディスプレイを計20台、設置しました。コンテンツ配信用の管理画面もシンプルな操作で、職員でも問題なく活用できています。従来のように紙をプリントして貼り替える手間がなくなり、来場者の利便性に加えて職員の業務効率も向上しました。

今後の
展開今回刷新した基盤への監視カメラや電話機能の統合など、
さらなる機能強化を目指す

■ 今後の展開について、お考えがあればお聞かせください。

サイネージに関しては、今後CM動画の配信であるとか、館内放送の代わりとしてテロップで来場者への案内を充実させる、といった活用を検討しています。また、現在は別のシステムで稼働している監視カメラも、Merakiのネットワークに統合することで、管理性や機能が強化できる期待があります。あとは、PBXの交換時期を迎えている電話設備も、今回刷新したIPネットワークへの統合ができれば、と考えています。

■ 最後に、三菱電機システムサービスへの評価と、今後の期待をお聞かせください。

県の補助予算案件ということで仕様書やマニュアルなど、さまざまな書面や検査への対応が必要でしたが、三菱電機システムサービスは自治体、官公庁案件でも豊富な実績があり、安心してお任せすることができました。導入いただいた各種機器も管理しやすく、安定稼働してくれており、非常に満足しています。コロナ禍を経て、さまざまな変化が加速している中、これからも利用しやすく、管理しやすいソリューションの提供に、期待しています。

Cisco Merakiは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

三菱電機システムサービス株式会社
www.melco.jp/

〒154-8520 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー20階

お問合せ先
映像情報通信事業推進センター
ネットワークシステム事業推進部
東京都品川区南品川2-3-6第7小池ビル2F
TEL:03-6433-0187